

## 本学の被災地復興支援活動の進捗情報

### 1. 宮城県亘理町・福島県南相馬市でのボランティア活動

9/18(火)、19(水)に宮城県亘理町・福島県南相馬市にDCUボランティアバスを運行し、教員・卒業生・在校生の総勢22名が参加しました。当日は、仮設住宅でのサロン活動(巾着作り・体操・ビンゴゲーム)を行い、多くの地域の方々と交流を深めました。また、2日目には福島県南相馬市の老人保健施設ヨッシーランドを視察し、大震災当日の貴重なお話を伺うことができました。



学生からは「被災者の言葉を、一つでも多く、周りに伝えてくることが大切だと感じた」「被災地の方々のために大きなことができなくても自分にできることを少しでもやっていく必要があるのではないかなと思う」「今回自分自身とても成長するきっかけとなった」「自分で目にしたこと、耳にしたことはテレビやインターネットで見るとは全く違う印象を持ち、自分の目で見るということはとても大切なことだということを実感した」などの感想が寄せられ、2日間で多くのことを経験できる貴重な機会となりました

### 2. 福島県いわき市でのボランティア

11/25(日)に今年度3回目となる福島県いわき市へのボランティアバスが運行し、本学の教職員・卒業生・在校生、そして、今回初めて目白大学の福島先生・福島ゼミのゼミ生、新宿区社会福祉士会会長などの参加もあり、総勢23名でボランティア活動を行いました。

当日は、前回同様にセブンイレブン豊間仮設店周辺の海岸や豊間中学校の周辺を視察しました。瓦礫は減ったものの、過去3回とは現状は大きくは変わらず、慰霊祭に集まる人々や基礎だけとなったご自宅に花を手向けの方がいたのが、印象的でした。

午後からは仮設住宅でサロン活動(「こども縁日」)を行いました。今回は子どもだけではなく、地域住民の方々にも参加いただき、30人以上が集まりました。活動は、前回同様手作り模擬店を集会所内に設置した他、メインイベントとして「クリスマスリース作り」を開催しました。「クリスマスリース作り」は非常に好評でサロン活動終了まで作成している方もいました。

学生からは「今回のサロン活動は様々な方々と関わることができて良かった。」「地域住民の方がサロン活動で『子どもに還ったようだ』と喜んでくださったのを見て、嬉しく思った」「今回、無事に終わることができたのは目白大学と共同で行なったから。また共同で行いたい」「今後も地域の方々の『心の復興』のために何かしていきたい」などの感想が寄せられ、今後の活動のヒントが多く得られる1日となりました。



# Merry Christmas



# CHANGE

みんなの力があ わたしの力があ

## VOL. 35

発行日:2012年(平成24年)12月25日(火)  
発行:田園調布学園大学 地域交流センター  
〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1  
TEL:044-966-2780 FAX:044-966-3512  
E-mail:c-center@dcu.ac.jp  
ホームページ:http://www.dcu.ac.jp/region/regional01/





# ようこと なっちゃん 日記



## 『青葉メゾン(あそぶんジャー)に参加して』

今回、参加したボランティア活動は、さつまいも・落花生取りの付き添いでした。

担当した子は、以前のボランティア活動でどのような子かは知っていたので、

どうしたら楽しんでくれるだろうかなど考えながら活動をしました。実際、一日その

子と関わってみると、その子の個性が見えてきて、自然に笑みがこぼれて、一緒に

笑顔で活動することができました。その後、保護者の方にも喜んでいただきました。

その時、“今日参加して良かった”と感じました。これからもボランティア活動を続けて

いきたいと思います。



## 『南百合丘小学校わくわくプラザ学習ボランティアに参加して』

今回も子どもたちと一緒に勉強(算数・国語など)をしたり、遊んだり(ドンジャラ・

ウノなど)してきました。毎週行っているボランティア活動なのですが、子どもたちは

いつも様々な表情を見せてくれます。その表情を見て、いつも楽しく関わらせてもらっ

ています。また、このボランティア活動で子どもたちと関わる中で、多くのことを学び、

パワーをもらっています。

興味のある方がいましたら、一緒に学習ボランティア活動をしてみませんか？



# 川崎市障害児・者移動支援事業等 従事者(サポーター)養成研修講座 が開催されました!!

11月10日(日)に「川崎市障害児・者移動支援事業等従事者(サポーター)養成講座」(主催「NPO 法人わになろう会」、共催「麻生区社会福祉協議会」、後援「田園調布学園大学」)が麻生区役所で開催されました。参加者39名のうち本学学生は9名参加し、「大変勉強になった」「移動支援についての知識が深まった」などの感想が寄せられ、大変好評のうち終了しました。

講座は「移動支援等、障害者福祉に係る関係制度のあらまし」、「知的障害者(児)理解と支援のあり方」など、従事者(サポーター)として活動するにあたって必要な知識を学ぶものでした。特に講演を行った「NPO 法人わになろう会」理事長の新井靖子さんは、川崎市で長年障害児等の支援を取り組んできた経験を話され、参加者にとって感慨深い内容だったようです。

実際に講座に参加した社会福祉専攻1年生で留学生のグエン・フン・ハイ・イエンさんは「講座を受講して良かったです。色々勉強になりました。これからサポーターとして、障害児・者の生活の支援をしていきたいと思います。頑張ります」と感想を述べ、留学生にとっても実りある良い機会となりました。



この講座の受講者に対し、後日障害者施設等でボランティア活動(3時間30分)を行った後に修了書・サポーター証が発行されます。参加者は、川崎市内で障害児・者を対象とした移動支援事業を行っている施設・団体に登録をし、活動することになります。参加した本学学生が今回の講座で得た知識を活かし、地域での活躍が期待されます。

